

古戦場と学びの道

三千人塚や分倍河原の古戦場碑などの史跡めぐりと、郷土の森博物館に立ち寄れるコースです。

三千人塚のエノキ



三千人塚で一休み

三千人塚には分倍河原合戦の戦死者三千人が埋葬されたと言われていましたが、昭和30年の発掘では骨壺四個と古碑が見つかり、中世墓地であることがわかりました。名木百選のエノキは旅人が休むための木陰を提供したのでしょうか。矢崎町防災公園、第二都市遊歩道を通り、真っすぐゴールの府中本町駅へ。

ハスの池は府中30景

郷土の森公園に、30種類のハスが咲く修景池があります。中でも大賀ハスは、故大賀一郎博士が、縄文遺跡から発見した古代ハスの種を発芽させたものです。郷土の森公園の脇の入口から新田川緑道を上り、芝間通りへ。



修景池

雑田堀親水路(ビオトープ)は、下河原緑道から雑田堀緑道へと続き、郷土の森へと行きます。通水に対し、サントリー酒類(株)武蔵野ビール工場と府中用水組合より協力を頂いています。また、土手を作り子供たちが生き物とふれあえるようになっています。

府中多摩川かぜのみち



府中多摩川かぜのみちを歩く

分梅橋の信号を渡り、分梅第5公園を経て住吉文化センターへ。京王線沿いに中河原駅方面へ向かい、八幡神社、南町第3公園、南町交番前公園を経て、多摩川南町公園の先のケヤキ並木をすぎると多摩川通りに出ます。信号を渡り、府中多摩川かぜのみちを歩きます。

新田義貞公之像前から

分倍河原駅の新田義貞公之像(昭和63年 富永直樹作)前をスタート。片町公園から鎌倉街道、分量橋を経て雑田堀緑道へ。分量橋は府中用水の流れを雑田堀に分水したところにかかっていた橋です。雑田堀緑道を京王線の手前で右に折れ、新田川分梅公園へ向かいます。



新田義貞公之像



所要時間：約2時間30分
6.2 km

京王線・JR分倍河原駅



郷土の森・ウメ

郷土の森博物館へ

河川敷の自然とふれあいながら南町遊歩道へ。サクラ並木の西側に、防災科学技術研究所の観測施設があります。地下2,700mを超える深さに地震計が設置され、東京直下の地震発生メカニズム解明に役立っています。芝間稲荷神社、ふるさと通りを経て郷土の森博物館へ。

歴史的建造物と四季の花々(オプションコース)

郷土の森博物館は、歴史的建造物のある通りや水遊びの池など、園内の散策だけでも十分楽しめます。四季折々に花が咲き、60種千本以上あるという梅園では、2月上旬～3月中旬に「梅まつり」も行われます。梅雨時のアジサイもきれいです。

郷土の森博物館

1987年オープン。野外には江戸時代から昭和初期までの府中の歴史的建築物が展示され、芝生広場や水遊びの池は四季を通じて子供達でにぎわいます。博物館本館は蔵を模した建物で、府中の自然と文化をテーマに歴史・民俗・考古・自然の各分野に関する資料・模型・映像等による展示が行われています。23mのドームを備えたプラネタリウムも併設。ふるさと体験館では藁細工や竹細工などの体験学習ができます。

大賀ハス



分倍河原古戦場碑

歴史的転換の舞台に

分梅橋公園手前に分倍河原古戦場の記念碑(昭和10年建立)があります。1333年に上州で討幕の兵をあげた新田義貞は、ここ分倍河原で北条泰家率いる幕府軍を撃破、一気に鎌倉へ攻め込みました。分倍河原は鎌倉と川越を結ぶ鎌倉街道と多摩川の交わる場所で、南北朝時代にはいく度も戦の舞台になっています。

- 開館時間：9:00～17:00(入館は16:00まで)
- 休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)年末年始他休館日あり
- 料金：博物館・大人200円 小人100円
プラネタリウム・大人400円 小人200円